

## 2020年度 小委員会活動成果報告

(2020年12月16日作成)

小委員会名	建物健全性モニタリング小委員会		主 査 名：佐藤 貢一 就任年月：2017年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島 一郎
設 置 期 間	2017年4月 ～ 2021年3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>地震動を受けた構造物の健全性を迅速に判断するモニタリング評価法、モニタリング結果による設計活用法および建物室内の被害状況を把握する技術について、総括的に調査することを目的に活動。</p> <p>初年度：既往モニタリング文献の収集 2年度：既往モニタリング文献（国内外）の整理・分析 3年度：シンポジウムの開催、モニタリング技術のロードマップや建物健全性評価法について検討 4年度：モニタリング技術に関する手引書、事例集の作成とアンケート調査</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：佐藤貢一(大成建設) 幹事：曾根孝行(竹中工務店)、肥田剛典(東京大学) 委員：池田芳樹(京都大学防災研究所)、楠浩一(東京大学)、白石理人(清水建設)、ジロン・ニコラ(日建設計)、薛松濤(東北工業大学)、中嶋唯貴(北海道大学)、西村功(東京都市大学)、丸谷翔平(日本設計)、三浦耕太(大林組)、三田彰(慶應義塾大学)、向井洋一(神戸大学)、渡壁守正(広島工業大学)</p>		
設置WG (WG名：目的)	建物モニタリング技術調査WG：モニタリング技術の実施物件用途や動向の調査を行い、ロードマップの整理を行った。さらにアンケート調査によりモニタリング技術へのニーズや現状について整理した。		
2020年度予算	150,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「東日本大震災から10年 ― 建築振動分野の課題と展望」(振動運営委員会全小委員会共同) 参加者数 140名 『同名資料』
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 4年間の活動において、地震直後の構造部材の健全性評価技術のみならず、非構造部材の損傷評価技術や居住空間における人の行動を含めた調査活動を行った。</p> <p>2. 3年目にまとめたロードマップをさらに整理し、振動運営委員会主催のシンポジウムで公開し、課題を整理し技術の普及活動に努める旨を報告した。</p> <p>3. 建物利用者へのアンケート調査を追加で実施し、利用者がモニタリング技術に求めるニーズを整理し、シンポジウムで公開した。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 観測結果と解析結果の整合性を高め、設計へのフィードバックが必要である。</p> <p>2. 各建物の観測データの公開に困難さがある。</p>